

2012みやぎふるさとCM大賞で「金賞」を受賞
「白石うーめん」と「キューブ新体操教室の三つ子×2組」のコラボ作品でCMを制作



12月5日、KHB東日本放送が主催する「2012みやぎふるさとCM大賞」の審査会がイズミティ21（仙台市）で行われました。本市は、「白石うーめん」と「キューブ新体操教室の三つ子×2組」のコラボ作品でCMを制作。審査会当日は、高橋3兄弟と佐藤3兄弟の6人がステージでパフォーマンスを披露。大賞に次ぐ「金賞」を受賞しました。審査会の模様は1月3日（木）16:00から、CMも年間60回、同局で放送される予定です。ぜひご覧ください。

●2012みやぎふるさとCM大賞「白石城下うーめんの巻 にんにん」 <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/eizo/>

「自治宝くじ」を活用して地域づくりを推進
大平第5自治会が「平成24年度自治宝くじコミュニティ助成事業」に採択



▲これからの活動について語り合う自治会の皆さん



このたびの助成により集会所の備品をそろえることができ、とても感謝しています。備品を活用し、地域の活性化に向けた活動に取り組んでいきたいと思っています。

大平第5自治会長
さくまよしあき 佐久間義昭さん

宝くじの受託事業収入を財源とした、財団法人自治総合センターの「平成24年度自治宝くじコミュニティ助成事業」に大平第5自治会が採択され、集会所の備品を整備しました。

大平第5自治会の集会所は平成23年9月に火災で全焼し、備え付けてあった備品をすべて焼失してしまいました。集会所は市の助成を受け再建しましたが、備品を整備することができず、助成事業の申請を行いました。

平成24年9月30日に実施した市内一斉クリーン作戦の作業終了後には慰労会を行い、親睦を深めていました。同会は、「整備した備品を自治会の活動や自主防災活動に役立てていきたいです」と意欲を燃やし、今後のさらなる地域活性化に向けた活動が期待されます。

●助成額 200万円

●助成内容 テント1張、発電機1台、焼き機1台、掲示板1基、ホワイトボード1基、エアコン2台、テーブル10台、テレビ1台、ブルーレイディスクレコーダー1台、リアカー1台、応急セット1式、椅子5脚、LEDランタン2台、コードリール1台

春のさわやかな白石の風景を表現
染織家の山崎泰子さんが作品を市に寄贈



12月3日、染織家の山崎泰子さん（大鷹沢鷹巣）が市役所を訪れ、春のさわやかな白石の風景を表現した作品「春」を市に寄贈しました。絹の布地に青を基調とした作品で大きさは縦112cm、横145cm。蔵王連峰をテーマに、流れる雲や桜、梅、白石城などの光景を描きました。山崎さんは、「3カ月かけて作品を仕上げました。白石の素晴らしい風景を感じてもらえれば」と話し、風間市長は、「大変ありがたい。中央公民館に飾らせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

子どもたちの未来のために役立てて
ふれあいプラザのポストに10万円入りの封筒



12月1日、現金10万円と手紙入りの封筒がふれあいプラザのポストに投函されていました。封筒にあて名や差出人の記載はなく、手紙には「子供達の未来の為に役立て下さい」と柔らかい字で書かれていました。同施設には平成22年から毎年1回、同じような現金の投函があり、市ではこれまでふれあいプラザ内の遊具などの購入に活用させていただきました。今回のご寄付も子育て支援などの福祉事業に活用させていただきます。

野球を通して友情の輪を広げる
本市と海老名市の少年野球チームが交流試合



11月3日、白石ヨッシャーズと姉妹都市海老名市の海老名キャロルの交流試合が白石川緑地公園野球場で行われました。両チームの交流は、平成24年8月25日に本市で開催された両市選抜チーム親善野球交流大会の後に開催された懇親会が縁。両チームの監督が「選抜選手以外の選手を含めた交流がしたい」と意気投合し実現した。この日は、交流試合のほか両チーム混合の紅白戦が行われ、野球を通して友情の輪を広げました。

子どもたちの健やかな成長を願って
白石市建設職組合青年部が奉仕作業



10月28日、白石市建設職組合青年部（中島裕文青年部長）の皆さんが市内8保育園・2児童館の施設修繕などの奉仕作業を行いました。建設職組合の厚意で30年以上続くこの奉仕作業。今年も材料代や工賃として1万円ずつを各施設に寄付する形で実施されました。今年の作業には同組合青年部の約10人が参加。柵やロッカー、網戸などの修理、柵の設置など、「職人の技」で子どもたちの健やかな成長を願って丁寧に作業を行っていました。